

審査委員長特別賞

和結の間 ～動線は、和のぬくもりに包まれて～

愛知県 | 愛知県立愛知総合工科高等学校 選手 / 3年生5名



愛知県の山村集落内に建つ若い夫婦と子供のための戸建て住宅です。

まず興味を惹かれたのは家族の設定でした。住み手である若い夫婦は実家の両親の農業を手伝うために、夫が生れ育った故郷の集落に移住して、そこに住むための家は建築家である妻が設計するというようにきわめて具体的に設定されていて、現実味があり、状況がわかりやすく説明されていました。

その上で家族が地域の人々と豊かな交流を持つために和室を設けるというのがコンセプトなのですが、その和室は25畳ほどある階段状の大空間で、地域の人々が集ってイベントを行ったり、地域の子供たちの遊び場となったり、地域に開放された空間として設計されていて、空間的にも大胆で、その独自性を高く評価しました。住宅部分も1階に室内干しスペースを兼ねた大きなウォークインクローゼットを設けるなど、今日的な住宅プランになっている点も良いと思いました。

少し残念だったのは、敷地の周辺状況や高低差がわかりにくく、配置計画や建物のボリューム感が適正なのか判断できなかったことで



す。おそらく周辺は古い木造家屋が多い地区だと思うので、建物の形はもう少し周辺環境に合う形が望ましいと思いますし、高さももう少し低い方が、地域住民と仲良くしたいという考えがよりよく表現できたのではないかと思います。
(横内敏人)